いざというときの緊急連絡先

●消防（火事・救急）… 119　●警察（緊急・事故）… 110　●海上（事故・事件）… 118

名　　称	電話番号
豊前市役所	0979−82−1111
豊前警察署	0979−82−0110
豊前警察署　宇島駅前交番	0979−82−3375
豊前警察署　角田駐在所	0979−82−5531
豊前警察署　山田駐在所	0979−82−6651
豊前警察署　合岩駐在所	0979−88−2049
京築広域圏消防本部　豊前消防署	0979−82−0119
豊築休日急患センター	0979−82−8820
福岡県京築県土整備事務所	0979−82−3350
第7管区海上保安本部	093−321−2931

非常持出品・備蓄品リスト

　非常持出品・備蓄品の準備は防災対策の基本です。リストを参考に、家族構成に合わせて準備しましょう。また、食品の賞味期限や電化製品の故障がないかを定期的にチェックすることも忘れずにしましょう。

非常持出品　チェックしよう!

　避難するときに持ち出す最小限の必需品です。あまり重いと避難に支障が出るので、必要最小限にまとめ、すぐ取り出せるところに保管しておきましょう。



□**ヘルメット・防災ずきん**
落下物から頭を守るための必需品

□**懐中電灯** ※予備の電池も必要
停電時や夜間の移動に欠かせない
できれば1人に1つ用意

□**非常食**
缶入り乾パンなど、火を通さず
食べられるもの

□**貴重品**
預金通帳、健康保険証、マイナンバーカード
免許証（番号を控えたメモかコピー）、現金

□**水**
持ち運びに便利な
ペットボトル入りを

□**リュックサックなど**
非常持出品を入れて両手が確保できる
リュックサックなど

□**携帯ラジオ** ※予備の電池も必要
小型で軽く、FMとAMの両方を
聴けるものがよい

□**救急医薬品・常備薬**
キズ薬、ばんそうこう、その他の薬など

□**生活用品**
衣類、軍手、ナイフ、ライター、
缶切り、簡易トイレ、タオル、雨具など

非常備蓄品　チェックしよう!

　災害復旧までの数日間、生活するためのものです。最低でも3日間は生活できるだけの量を用意しておきましょう。

□**非常食**
缶詰やレトルト食品など、そのまま食べられる
か、簡単な調理で食べられるもの



□**水**
飲料水と生活用水を用意する
飲料水は1人1日3リットルが目安

□**生活用品**
カセットコンロと予備のガスボンベ、毛布、
衣類、トイレットペーパー、ドライシャンプー、
ビニール袋など

□**工具類**
家屋が倒壊した場合などに備えて、
救出活動に使えるスコップやバール、
のこぎり、ロープ、車のジャッキなど

●家族構成に合わせた準備を



　非常持出品・非常備蓄品は、家族構成に合わせて必要なものを考えてみましょう。
　子どもがいる家庭では、子どもの年齢により必要なものが変わっていくので、定期的に見直すことも大切です。

豊前市

保存版

いざという時のために、備えておきましょう

防災マップ

洪水　高潮　地震　防災情報　土砂災害　津波　竜巻



豊前市

平成28年3月作成

この豊前市防災マップは、市民の皆さんに災害に関する情報を提供し、事前の備えに役立てて頂くことを目的に作成したものです。

災害による被害を最小限に抑えるためには「自助」、「共助」、「公助」の連携が不可欠です。特に、「自助」（自分の命は自分で守る）、「共助」（自分たちの地域は自分たちで守る）という考え方が重要になります。

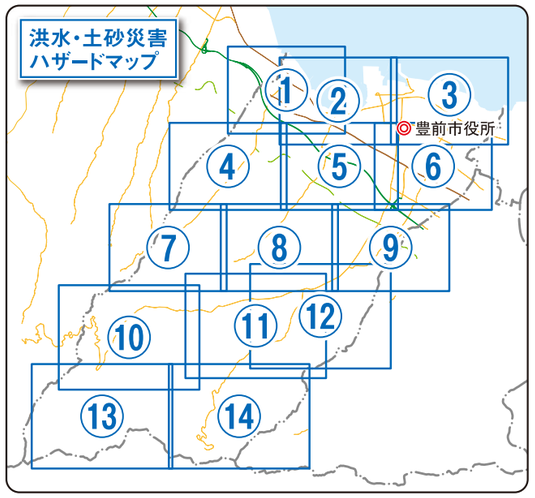
この防災マップを活用し、身の回りの災害危険箇所や避難所、避難経路を確認し、事前の備えに役立ててください。

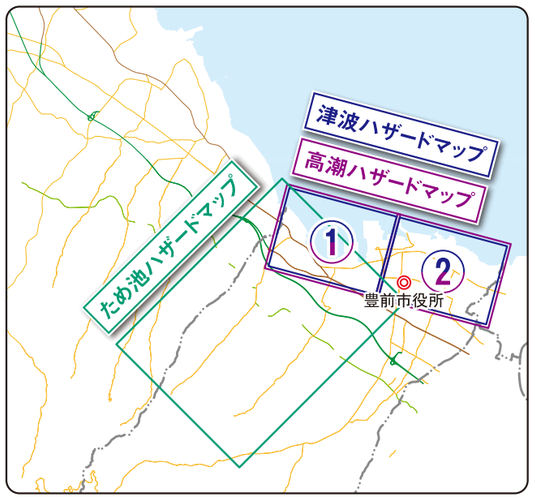


目次

避難所一覧 …… ページ 2
洪水・土砂災害ハザードマップ … 3
津波ハザードマップ …… 31
高潮ハザードマップ …… 35
ため池ハザードマップ …… 39
災害に備えて …… ページ 41
避難に対する基本的な考え方 … 42
防災情報 …… 43
洪　水 …… 45
高　潮 …… 46
土砂災害 …… ページ 47
竜　巻 …… 48
地　震 …… 49
津　波 …… 50

マップ区割図





洪水・土砂災害ハザードマップ
①（縮尺1/10,000）…… ページ 3～ ページ 4
②（縮尺1/10,000）…… 5～ 6
③（縮尺1/10,000）…… 7～ 8
④（縮尺1/10,000）…… 9～10
⑤（縮尺1/10,000）…… 11～12
⑥（縮尺1/10,000）…… 13～14
⑦（縮尺1/10,000）…… 15～16
⑧（縮尺1/10,000）…… 17～18
⑨（縮尺1/10,000）…… 19～20
⑩（縮尺1/12,000）…… 21～22
⑪（縮尺1/12,000）…… 23～24
⑫（縮尺1/12,000）…… 25～26
⑬（縮尺1/12,000）…… 27～28
⑭（縮尺1/12,000）…… 29～30
津波ハザードマップ①（縮尺1/10,000）…… 31～32
②（縮尺1/10,000）…… 33～34
高潮ハザードマップ①（縮尺1/10,000）…… 35～36
②（縮尺1/10,000）…… 37～38
ため池ハザードマップ（縮尺1/20,000）…… 39～40

指定緊急避難場所・指定避難所一覧

■指定緊急避難場所とは…災害発生時に一時的に安全を確保するための施設です。
■指定避難所とは……自宅へ戻れなくなった被災者などが一定期間避難生活を送るための施設です。

No	指定緊急避難場所	住所	電話番号（市外局番0979）	災害対応（○:利用可能、×:利用不可）					うち指定避難所
				洪水	土砂	高潮	地震	津波	
1	角田小学校（体育館）	中村943-1	82-2710	○	○	○	○	○	○
2	角田中学校（体育館）	中村392	82-2712	○	○	○	○	○	○
3	角田公民館	中村412-2	82-2701	○	○	○	○	○	
4	山田小学校（体育館）	四郎丸417-2	82-2604	○	○	○	○	○	○
5	山田公民館	四郎丸263	82-2666	○	○	○	○	○	
6	大村小学校（体育館）	大村1524	82-2026	○	○	○	×	○	
7	大村公民館	大村1780	82-7753	○	○	○	○	○	
8	八屋小学校（体育館）	八屋2232-1	82-2128	○	○	○	○	○	○
9	八屋中学校（体育館）	赤熊1363-1	82-2253	○	○	○	○	○	○
10	中央公民館	八屋1860-12	82-2402	○	○	○	×	○	
11	八屋公民館	八屋1381-2	82-2775	○	○	○	○	○	
12	宇島小学校（体育館）	赤熊750	82-2045	○	○	○	○	○	○
13	宇島公民館	赤熊484-1	82-3196	○	○	×	×	○	
14	三毛門小学校（体育館）	三毛門976-1	82-2017	○	○	○	○	○	○
15	三毛門公民館	三毛門914-4	82-2671	○	○	○	○	○	
16	黒土小学校（体育館）	久路土1191-1	82-2401	×	○	○	○	○	○
17	黒土公民館	久路土1180-1	82-2670	×	○	○	○	○	
18	千束小学校（体育館）	千束75	82-2364	○	○	○	○	○	○
19	千束中学校（体育館）	吉木1122-1	82-2153	○	○	○	○	○	○
20	千束公民館	千束167	82-2250	○	○	○	×	○	
21	豊前市役所	吉木955	82-1111	○	○	○	×	○	
22	横武小学校（体育館）	薬師寺221-1	82-2736	○	○	○	○	○	○
23	横武コミュニティセンター	薬師寺70-3	82-2669	○	○	○	○	○	
24	合河公民館	下川底304-1	88-2001	○	○	○	○	○	
25	合岩小学校（体育館）	下河内81-9	88-2787	○	○	○	○	○	○
26	合岩中学校（体育館）	下川底32	88-2012	○	○	○	○	○	○
27	岩屋活性化センター（体育館）	大河内301-3	88-2002	○	○	○	○	○	○
28	道の駅豊前おこしかけ	四郎丸1041-1	84-0544	○	○	○	○	○	
29	多目的文化交流センター	八屋1776-2	53-9535	○	○	○	○	○	○
30	豊前市市民会館	八屋2009-3	82-2705	○	○	○	×	○	
31	福岡県立青豊高校（体育館）	青豊3-1	82-2105	○	○	○	○	○	○

福祉避難所一覧

■福祉避難所とは…一般的な避難所での生活が困難な要配慮者（高齢者や障がいのある方など）が避難するための施設であり、市は災害の規模や避難者の状況により、福祉施設の管理者と連携を行い、避難所の開設を行います。

No	福祉避難所	住所	電話番号（市外局番0979）	災害対応（○:利用可能、×:利用不可）				
				洪水	土砂	高潮	地震	津波
1	豊前市総合福祉センター	吉木955	福祉避難所に関する問合せ先 ≪連絡窓口≫ 市役所総務課 82-1111	○	○	○	○	○
2	亀保の里	鬼木20-1		×	○	○	○	○
3	豊前サンビレッヂ	下川底170		×	×	○	○	○
4	豊前アニマノ	才尾450-3		○	○	○	○	○
5	望海荘	松江991-9		○	○	○	○	○
6	ケアハイツぶぜん	千束157-2		○	○	○	○	○
7	ケアハウスさくら	三毛門1340-1		×	○	×	○	○
8	ケアポートぶぜん	赤熊1359-1		○	○	○	○	○
9	向陽荘	松江968-1		○	○	○	○	○
10	周防学園	川内3739-16		○	○	○	○	○
11	ほうらい山荘	四郎丸1690-3		○	○	○	○	○
12	恵光園	荒堀37-12		○	○	○	○	○

No.	医療機関名称	所在地	TEL
1	梶原内科泌尿器科クリニック	四郎丸1298-1	82-2456

凡　例

土砂災害の危険がある場所

特別警戒区域（土石流）
特別警戒区域（急傾斜地の崩壊）
警戒区域（土石流）
警戒区域（急傾斜地の崩壊）
警戒区域（地すべり）
福岡県の資料より

防災関連情報

- 指定緊急避難場所・指定避難所
- 福祉避難所
- AEDが設置されている避難場所
- 市役所
- 医療機関
- 警察署・交番・駐在所
- 消防署・消防車庫
- 県境
- 市境
- 有料道路
- 国道
- 県道
- 広域農道
- JR

洪水・土砂災害ハザードマップについて

　このハザードマップでは、大雨によって市内の主要河川がはん濫した場合に想定される浸水区域と、土砂災害が発生する恐れのある危険区域を地図上に示しています。

　このハザードマップに示した危険区域以外にも、浸水や土砂災害が発生する可能性がありますのでご注意ください。

河川の浸水区域について

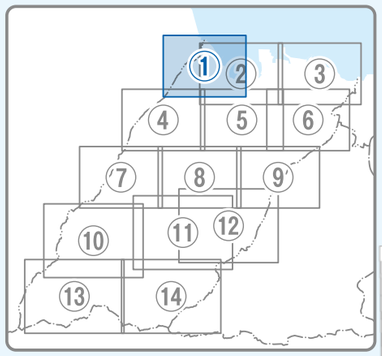
　二級河川の佐井川水系佐井川が大雨によって増水し、はん濫した場合に想定される、「浸水する範囲（浸水域）と浸水の深さ（浸水深）」を示しています。

【平成20年8月　福岡県作成】

　大雨の規模は、洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50の降雨）を想定しています。

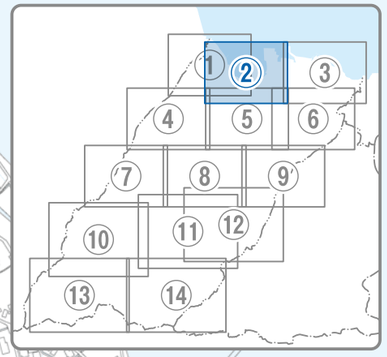
土砂災害が発生する恐れのある危険区域について

　福岡県が平成23年3月18日、平成27年5月22日に告示した、急傾斜地の崩壊、土石流、地すべりの「土砂災害警戒区域」、「土砂災害特別警戒区域」を示しています。



0　1:10,000　300m

©2016ZENRIN CO.,LTD.　許諾番号:Z16FB第141号



凡　例

土砂災害の危険がある場所

特別警戒区域（土石流）
特別警戒区域（急傾斜地の崩壊）
警戒区域（土石流）
警戒区域（急傾斜地の崩壊）
警戒区域（地すべり）
福岡県の資料より

防災関連情報

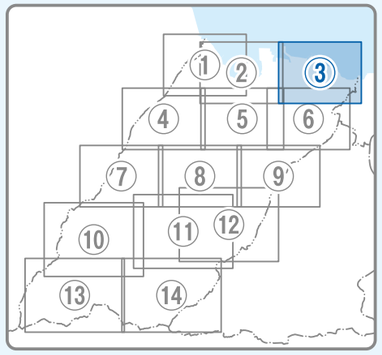
- 指定緊急避難場所・指定避難所
- 福祉避難所
- AEDが設置されている避難場所
- 市役所
- 医療機関
- 警察署・交番・駐在所
- 消防署・消防車庫
- 県境
- 市境
- 有料道路
- 国道
- 県道
- 広域農道
- JR

No.	医療機関名称	所在地	TEL
1	梶原内科泌尿器科クリニック	四郎丸1298-1	82-2456
2	まえだ小児科医院	八屋2284	82-2232
3	倉富医院	八屋1360	82-2221
4	ぶぜん眼科クリニック	八屋2044-1	82-4800
5	わたなべ整形外科	八屋2039-1	82-2371
6	矢鳴耳鼻咽喉科医院	八屋1921-7	82-3276
25	豊築休日急患センター	八屋1776-4	82-8820

0　1:10,000　300m

石原
畠中
松江
鵜迫
御腰掛
船入
豊前武道館
豊前市民体育館
住吉
JR日豊本線
豊前発電所
宇島港
中央
宇島駅
宇島駅前交番
明神
八屋
豊前市
市民会館
第2分団
第1分団第1部
第1分団第2部
八屋公民館
八屋小学校
（体育館）
二葉
本町
上町
前川
今吉
荻田
西前川
四郎丸
迫
中組
高野
田渕
今市
高校通
東九州自動車道
豊前松江駅
角田駅在所
山田駅在所
道の駅豊前おこしかけ
角田中学校
（体育館）
角田公民館
角田小学校
（体育館）
第4分団
向陽荘
望海荘
山田小学校
（体育館）

©2016ZENRIN CO.,LTD.　許諾番号:Z16FB第141号



No.	医療機関名称	所在地	TEL
7	八屋第一診療所	八屋2581	82-2502
8	くろつち整形外科クリニック	赤熊1359-3	82-2551
9	花岡内科循環器科医院	赤熊1330	83-2311
10	三浦眼科クリニック	青豊19-9	64-7600
11	菊池内科クリニック	吉木440-1	64-7666
12	小林整形外科医院	赤熊242-1	82-2438
13	辛島内科クリニック	恒富89-1	82-5225
14	ともおレディースクリニック	久松8-1	82-0328
15	清田整形外科医院	恒富35-1	82-3127
16	みぞぐち泌尿器科クリニック	恒富40-1	84-0840
17	重岡胃腸科外科医院	三毛門773-1	82-1011
18	こが内科	三楽140-2	82-2011
25	豊築休日急患センター	八屋1776-4	82-8820

0 1:10,000 300m

凡　例

浸水想定区域
- 浸水深0.5m未満
- 浸水深0.5m以上1.0m未満
- 浸水深1.0m以上2.0m未満

福岡県の資料より

土砂災害の危険がある場所

特別警戒区域（土石流）　特別警戒区域（急傾斜地の崩壊）

警戒区域（土石流）　警戒区域（急傾斜地の崩壊）

警戒区域（地すべり）

福岡県の資料より

防災関連情報
- 指定緊急避難場所・指定避難所
- 福祉避難所
- 防災倉庫・水防倉庫
- AEDが設置されている避難場所
- 市役所　医療機関
- 警察署・交番・駐在所
- 消防署・消防車庫
- 県境　市境
- 有料道路　国道
- 県道　広域農道
- JR

©2016ZENRIN CO.,LTD.　許諾番号:Z16FB第141号

凡　例

土砂災害の危険がある場所

特別警戒区域（土石流）

特別警戒区域（急傾斜地の崩壊）

警戒区域（土石流）

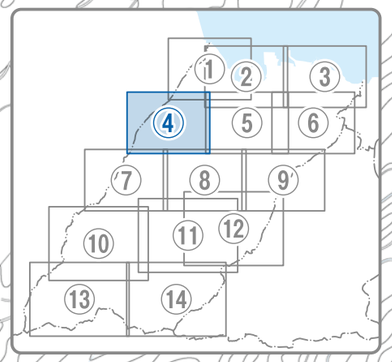
警戒区域（急傾斜地の崩壊）

警戒区域（地すべり）

福岡県の資料より

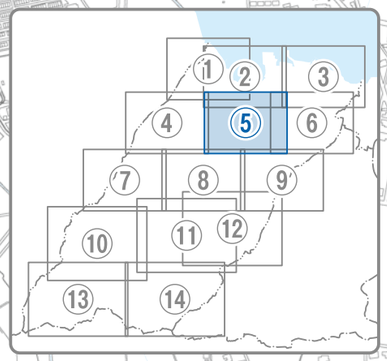
防災関連情報

- 指定緊急避難場所・指定避難所
- 福祉避難所
- AEDが設置されている避難場所
- 市役所
- 医療機関
- 警察署・交番・駐在所
- 消防署・消防車庫
- 県境
- 市境
- 有料道路
- 国道
- 県道
- 広域農道
- JR



0　1:10,000　300m

©2016ZENRIN CO.,LTD.、許諾番号:Z16FB第141号



東九州自動車道
迫
四郎丸
荻田
西前川
今吉
中組
山田駐在所
4 山田小学校（体育館）
高野
鈴子川
田渕
230
10
豊前警察署
京築広域圏消防本部
豊前消防署
山田公民館
5
19
第5分団
大富神社
下鳥越
ほうらい山荘 11
鳥越
新町
下千東
中川
7 大村公民館
6 大村小学校（体育館）
第12分団
大村
千東公民館 20
千東
尾越トンネル
平原
上鳥越
野田
千東小学校（体育館） 18
荒堀
32
川内
鈴木谷
高野谷
凱旋池
天地山公園
畑成池
上千東
青畑
京築アグリライン
230
倉 大西防災倉庫（平成30年予定）
二番池
12 恵光園
下大西
東九州自動車道
天地山トンネル
八田
池尾池
大西

凡　例

土砂災害の危険がある場所

特別警戒区域（土石流）
特別警戒区域（急傾斜地の崩壊）
警戒区域（土石流）
警戒区域（急傾斜地の崩壊）
警戒区域（地すべり）
福岡県の資料より

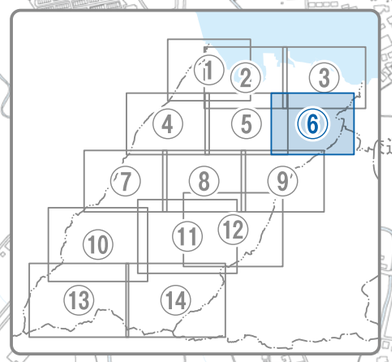
防災関連情報

- 指定緊急避難場所・指定避難所
- 福祉避難所
- 倉 防災倉庫・水防倉庫
- AEDが設置されている避難場所
- 市役所
- 医療機関
- 警察署・交番・駐在所
- 消防署・消防車庫
- 県境
- 市境
- 有料道路
- 国道
- 県道
- 広域農道
- JR

0　1:10,000　300m

No.	医療機関名称	所在地	TEL
19	大川病院	四郎丸281	82-2203

©2016ZENRIN CO.,LTD.　許諾番号:Z16FB第141号



豊前市総合福祉センター 1
豊前市役所 21
豊前市役所水防倉庫
京築広域圏消防本部 豊前消防署
千束中学校（体育館） 19
千束公民館 20
ケアハイツぶぜん 6
第7分団
千束小学校（体育館） 18
大西防災倉庫（平成30年予定）
黒土小学校（体育館） 16
第8分団
黒土公民館 17
三毛門公民館 15
三毛門小学校（体育館） 14
第6団第3部
新大の瀬橋

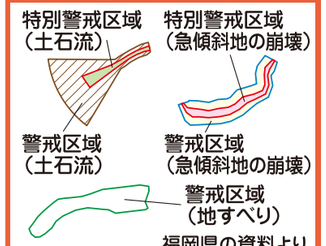
No.	医療機関名称	所在地	TEL
10	三浦眼科クリニック	青豊19-9	64-7600
11	菊池内科クリニック	吉木440-1	64-7666
17	重岡胃腸科外科医院	三毛門773-1	82-1011
18	こが内科	三楽140-2	82-2011
20	菊池医院	千束157-2	82-1212
21	久永内科皮膚科医院	塔田757	83-2167
22	豊前病院	久路土1545	82-2309
23	嶋田内科	久路土975	82-2054

凡　例

浸水想定区域
- 浸水深0.5m未満
- 浸水深0.5m以上1.0m未満
- 浸水深1.0m以上2.0m未満

福岡県の資料より

土砂災害の危険がある場所



福岡県の資料より

防災関連情報
- 指定緊急避難場所・指定避難所
- 福祉避難所
- 防災倉庫・水防倉庫
- AEDが設置されている避難場所
- 市役所
- 医療機関
- 警察署・交番・駐在所
- 消防署・消防車庫
- 水位観測所
- 県境
- 市境
- 有料道路
- 国道
- 県道
- 広域農道
- JR

0　1:10,000　300m

©2016ZENRIN CO.,LTD.　許諾番号:Z16FB第141号

凡　例

土砂災害の危険がある場所

特別警戒区域（土石流）

特別警戒区域（急傾斜地の崩壊）

警戒区域（土石流）

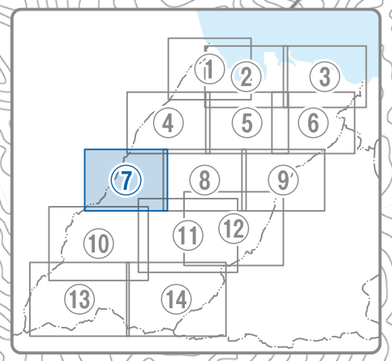
警戒区域（急傾斜地の崩壊）

警戒区域（地すべり）

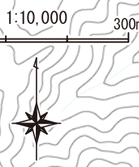
福岡県の資料より

防災関連情報

- 指定緊急避難場所・指定避難所
- 福祉避難所
- AEDが設置されている避難場所
- 市役所
- 医療機関
- 警察署・交番・駐在所
- 消防署・消防車庫
- 県境
- 市境
- 有料道路
- 国道
- 県道
- 広域農道
- JR



0　1:10,000　300m



©2016ZENRIN CO.,LTD.　許諾番号:Z16FB第141号

凡　例

土砂災害の危険がある場所

特別警戒区域（土石流）

特別警戒区域（急傾斜地の崩壊）

警戒区域（土石流）

警戒区域（急傾斜地の崩壊）

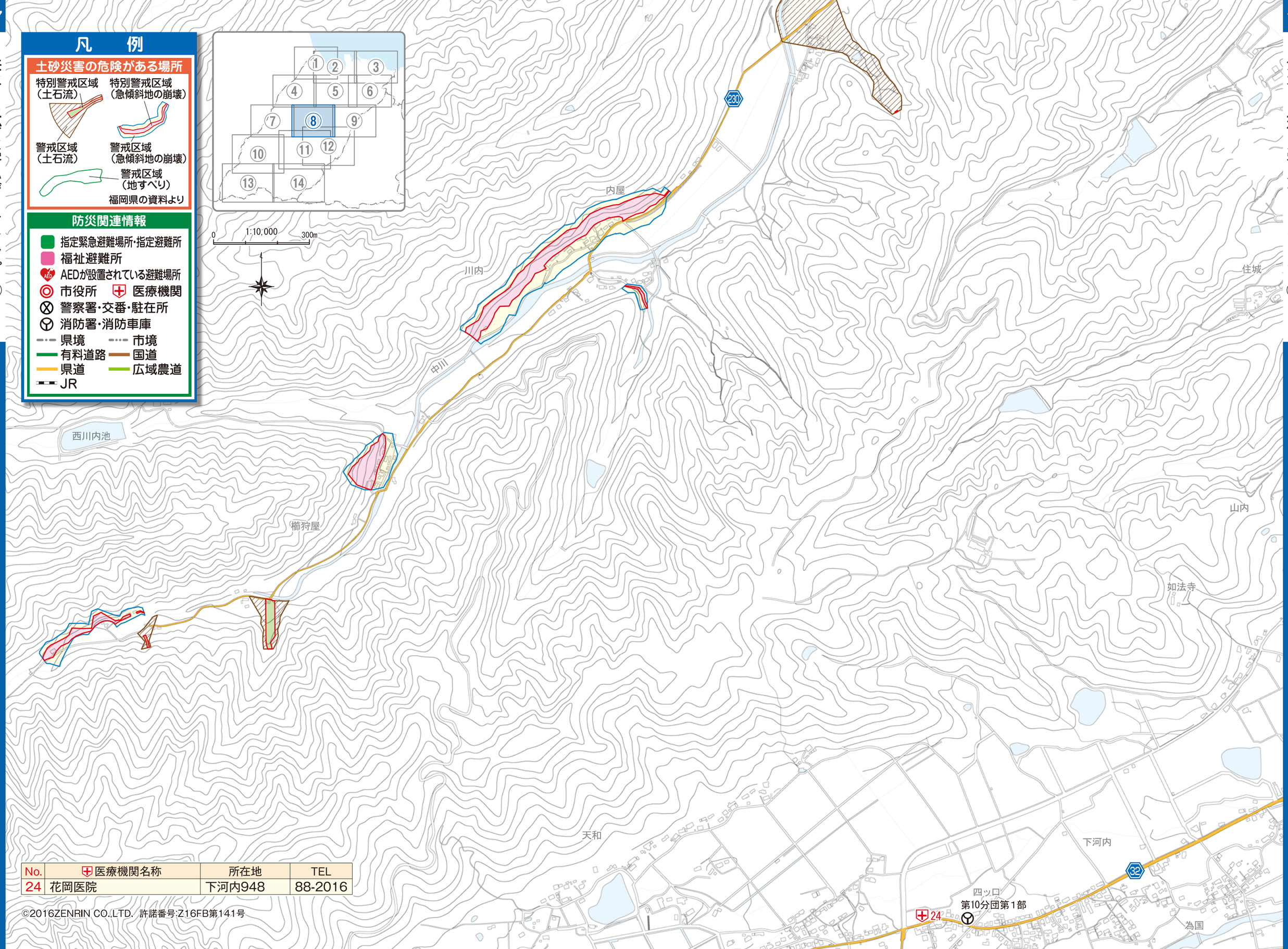
警戒区域（地すべり）

福岡県の資料より

防災関連情報

- 指定緊急避難場所・指定避難所
- 福祉避難所
- AEDが設置されている避難場所
- 市役所
- 医療機関
- 警察署・交番・駐在所
- 消防署・消防車庫
- 県境
- 市境
- 有料道路
- 国道
- 県道
- 広域農道
- JR

0　1:10,000　300m



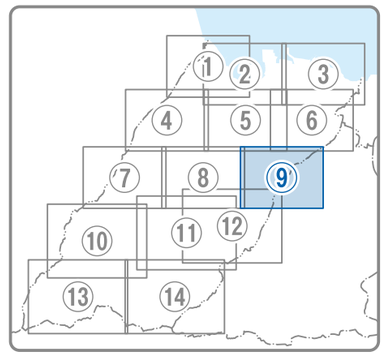
No.	医療機関名称	所在地	TEL
24	花岡医院	下河内948	88-2016

©2016ZENRIN CO.,LTD.　許諾番号:Z16FB第141号

池尾池
大西
中大西
豊前IC
広瀬
永久
西ノ山
4 豊前アニマノ
京築アグリライン
上大西
鬼木
東九州自動車道
住城
23 横武コミュニティセンター
河原田
2 亀保の里
夕田池
22 横武小学校（体育館）
薬師寺
才尾
第９分団
山内
狭間
山内
千手観音
大木

©2016ZENRIN CO.,LTD. 許諾番号:Z16FB第141号

0 1:10,000 300m



凡　例

浸水想定区域
- 浸水深0.5m未満
- 浸水深0.5m以上1.0m未満
- 浸水深1.0m以上2.0m未満

福岡県の資料より

土砂災害の危険がある場所
- 特別警戒区域（土石流）
- 特別警戒区域（急傾斜地の崩壊）
- 警戒区域（土石流）
- 警戒区域（急傾斜地の崩壊）
- 警戒区域（地すべり）

福岡県の資料より

防災関連情報
- 指定緊急避難場所・指定避難所
- 福祉避難所
- AEDが設置されている避難場所
- 市役所
- 医療機関
- 警察署・交番・駐在所
- 消防署・消防車庫
- 県境
- 市境
- 有料道路
- 国道
- 県道
- 広域農道
- JR

凡　例

土砂災害の危険がある場所

特別警戒区域（土石流）

特別警戒区域（急傾斜地の崩壊）

警戒区域（土石流）

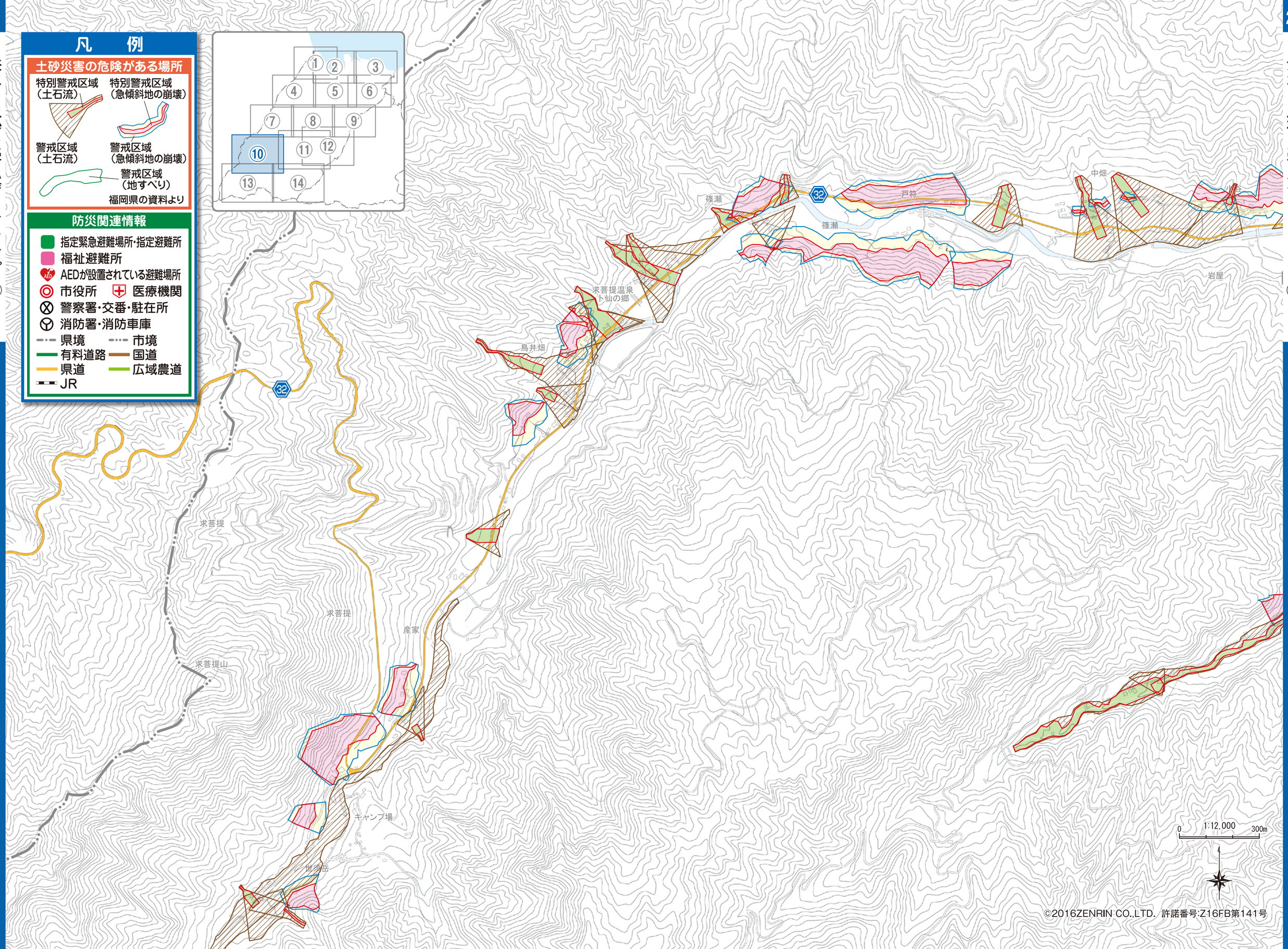
警戒区域（急傾斜地の崩壊）

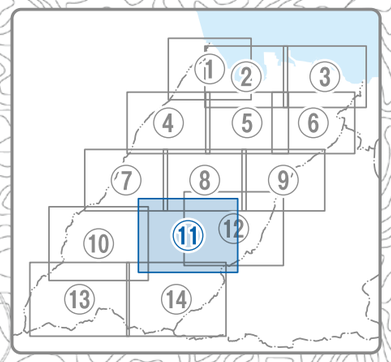
警戒区域（地すべり）

福岡県の資料より

防災関連情報

- 指定緊急避難場所・指定避難所
- 福祉避難所
- AEDが設置されている避難場所
- 市役所
- 医療機関
- 警察署・交番・駐在所
- 消防署・消防車庫
- 県境
- 市境
- 有料道路
- 国道
- 県道
- 広域農道
- JR





No.	医療機関名称	所在地	TEL
24	花岡医院	下河内948	88-2016

岩屋活性化センター
（体育館）
27

第11分団

第10分団
第2部

四ツ口
第10分団第1部

24
合岩駐在所

25
合岩小学校
（体育館）

24
合河公民館

26
合岩中学校
（体育館）

3
豊前
サンビレッヂ

岩屋
新貝
寺村
大河内
原
下組
中組
天和
下河内
合原
下川底
中川底
大稗
佐井川
枝川内
夫婦木
上川底
立岩
松尾川内
岩岳川

凡　例

浸水想定区域

- 浸水深0.5m未満
- 浸水深0.5m以上1.0m未満
- 浸水深1.0m以上2.0m未満

福岡県の資料より

土砂災害の危険がある場所

- 特別警戒区域（土石流）
- 特別警戒区域（急傾斜地の崩壊）
- 警戒区域（土石流）
- 警戒区域（急傾斜地の崩壊）
- 警戒区域（地すべり）

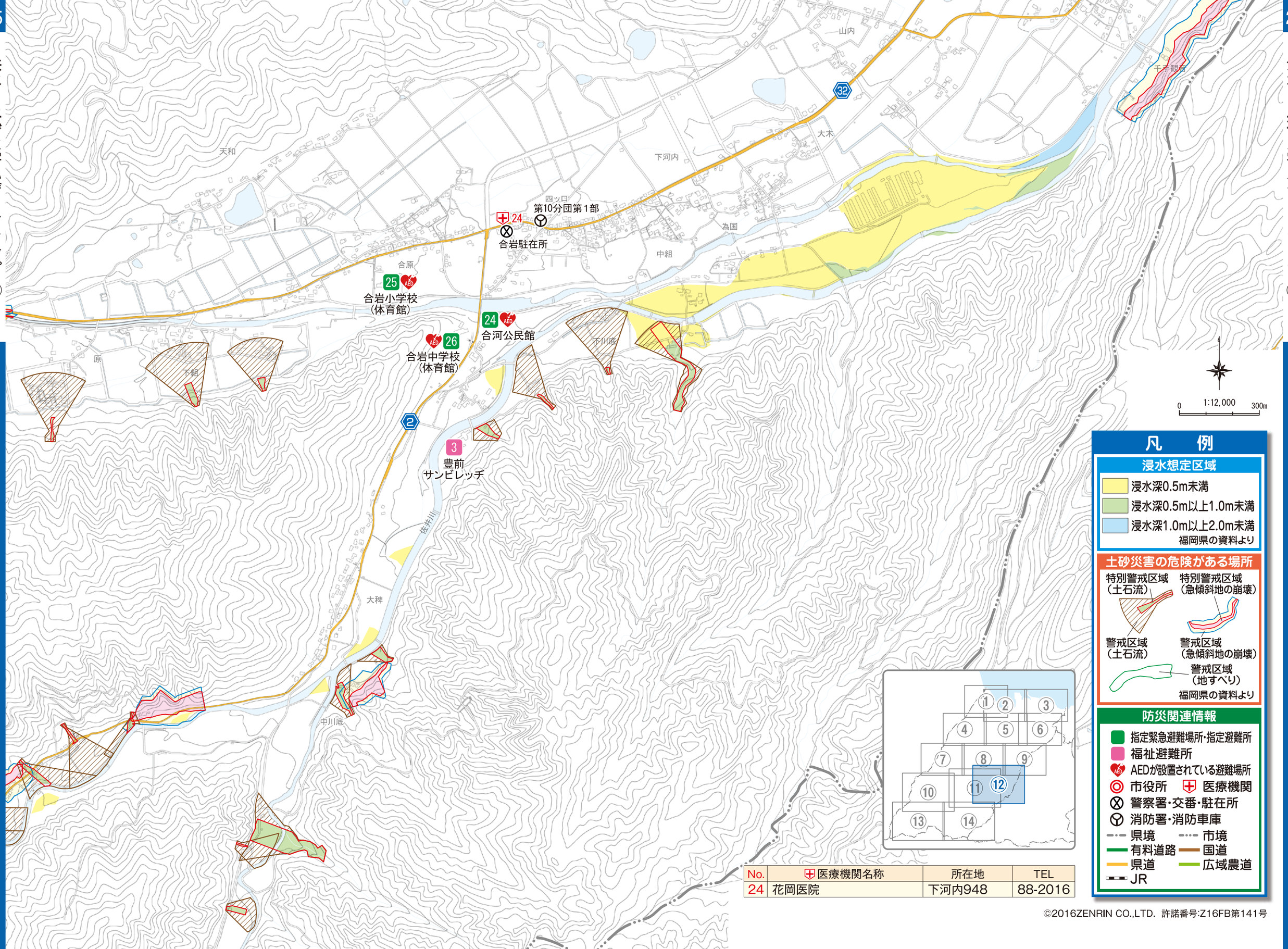
福岡県の資料より

防災関連情報

- 指定緊急避難場所・指定避難所
- 福祉避難所
- AEDが設置されている避難場所
- 市役所
- 医療機関
- 警察署・交番・駐在所
- 消防署・消防車庫
- 県境
- 市境
- 有料道路
- 国道
- 県道
- 広域農道
- JR

0　1:12,000　300m

©2016ZENRIN CO.,LTD.　許諾番号:Z16FB第141号



凡　例

浸水想定区域

- 浸水深0.5m未満
- 浸水深0.5m以上1.0m未満
- 浸水深1.0m以上2.0m未満

福岡県の資料より

土砂災害の危険がある場所

特別警戒区域（土石流）
特別警戒区域（急傾斜地の崩壊）
警戒区域（土石流）
警戒区域（急傾斜地の崩壊）
警戒区域（地すべり）

福岡県の資料より

防災関連情報

- 指定緊急避難場所・指定避難所
- 福祉避難所
- AEDが設置されている避難場所
- 市役所
- 医療機関
- 警察署・交番・駐在所
- 消防署・消防車庫
- 県境
- 市境
- 有料道路
- 国道
- 県道
- 広域農道
- JR

No.	医療機関名称	所在地	TEL
24	花岡医院	下河内948	88-2016

©2016ZENRIN CO.,LTD. 許諾番号:Z16FB第141号

28
洪水・土砂災害ハザードマップ⑬

キャンプ場

世渡岳

経読岳

犬ヶ岳

犬ヶ岳ツクシシャクナゲ自生地

九州自然歩道

九州自然歩道

凡　例

土砂災害の危険がある場所

特別警戒区域（土石流）

特別警戒区域（急傾斜地の崩壊）

警戒区域（土石流）

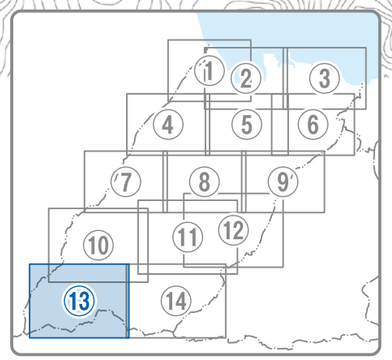
警戒区域（急傾斜地の崩壊）

警戒区域（地すべり）

福岡県の資料より

防災関連情報

- 指定緊急避難場所・指定避難所
- 福祉避難所
- AEDが設置されている避難場所
- 市役所
- 医療機関
- 警察署・交番・駐在所
- 消防署・消防車庫
- 県境
- 市境
- 有料道路
- 国道
- 県道
- 広域農道
- JR



0　1:12,000　300m

©2016ZENRIN CO.,LTD.　許諾番号:Z16FB第141号

立岩

上川底

松尾川内

轟

凡　例

浸水想定区域

- 浸水深0.5m未満
- 浸水深0.5m以上1.0m未満
- 浸水深1.0m以上2.0m未満

福岡県の資料より

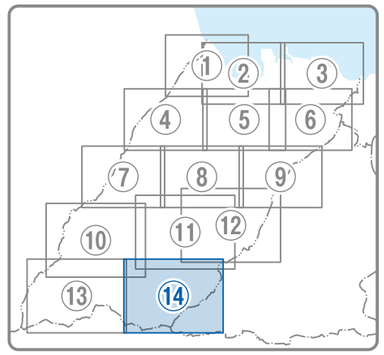
土砂災害の危険がある場所

- 特別警戒区域（土石流）
- 特別警戒区域（急傾斜地の崩壊）
- 警戒区域（土石流）
- 警戒区域（急傾斜地の崩壊）
- 警戒区域（地すべり）

福岡県の資料より

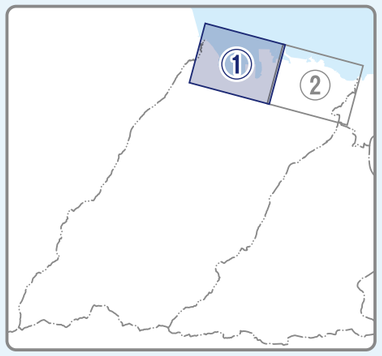
防災関連情報

- 指定緊急避難場所・指定避難所
- 福祉避難所
- AEDが設置されている避難場所
- 市役所
- 医療機関
- 警察署・交番・駐在所
- 消防署・消防車庫
- 県境
- 市境
- 有料道路
- 国道
- 県道
- 広域農道
- JR



0　1:12,000　300m

©2016ZENRIN CO.,LTD.　許諾番号:Z16FB第141号



津波ハザードマップについて

このハザードマップでは、福岡県内の沿岸部を対象に、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される、「浸水する範囲（浸水域）と浸水の深さ（浸水深）」を地図上に示しています。【平成28年2月　福岡県作成】

最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合として、国や県で検討された断層モデルをもとに、構造物が破壊される場合などを考慮して想定しています。

実際には地震による地盤変動や構造物の変状などにより、このハザードマップに示した浸水区域以外でも浸水したり、浸水深がさらに大きくなったりする可能性がありますのでご注意ください。

■潮位について

海域：2011年と2012年の潮位観測結果に基づく朔望平均満潮位(※1)
河川内：平水流量(※2)または沿岸の朔望平均満潮位と水位

■地盤の沈下について

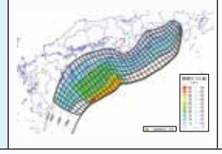
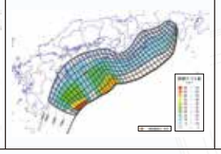
地盤高については、地震動による地盤の沈降を考慮

■構造物について

(1) 地震や津波による各種施設の被災を考慮。また、水門等については、耐震性を有し自動化された施設、常時封鎖の施設等以外は、開放状態として取り扱う。
(2) 各種構造物については、津波が越流し始めた時点で「破壊する」ものとし、破壊後の形状は「無し」とする。

(※1) 朔望（さくぼう）平均満潮位とは、新月（朔）および満月（望）の日から5日以内に現れる各月の最高満潮面について、1年以上にわたって平均した値のことを言います。
(※2) 平水流量とは、河川で1日に流れる水の量を、1年を通じて小さい方から大きい方へ整理したとき、1年を通じて185日はこれを下回らない流量のことを言います。

■断層モデルについて　各断層モデルについて津波浸水シミュレーションを行い、最大となる浸水域と浸水深を採用

番　号	①	②	③	④	⑤
参　照	内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討会」	内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討会」	国土交通省・内閣府・文部科学省「日本海における大規模地震に関する調査検討会」	福岡県の独自断層	福岡県の独自断層
断層モデル	ケース4	ケース11	F60（西山断層）	対馬海峡東の断層	周防灘断層群主部
マグニチュード	Mw=9.1	Mw=9.1	Mw=7.6	Mw=7.4	Mw=7.2
震源域					

凡　例

津波浸水想定区域

- 浸水深0.01m以上0.3m未満
- 浸水深0.3m以上1.0m未満
- 浸水深1.0m以上2.0m未満
- 浸水深2.0m以上5.0m未満

防災関連情報

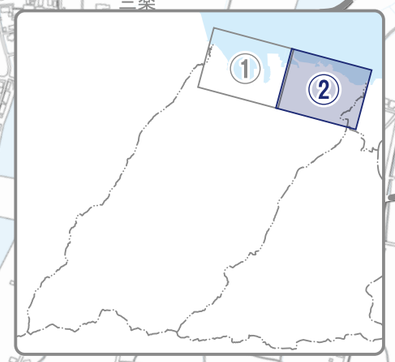
- 指定緊急避難場所・指定避難所
- 福祉避難所
- 市役所
- 警察署・交番・駐在所
- 消防署・消防車庫
- 市境
- 有料道路
- 国道
- 県道
- JR

石原　畠中　松江　第4分団　角田中学校（体育館）2　角田公民館 3　1 角田小学校（体育館）　中村　松江　角田駐在所　9 向陽荘　鵜迫　如見寺　東九州自動車道　豊前松江駅　御腰掛　船入　広山　28 道の駅豊前おこしかけ　四郎丸　荻田　西前川　今吉　豊前発電所　中央　八屋　明神　第1分団第1部　八屋小学校（体育館）8　住吉　豊前武道館　豊前市民体育館　第1分団第2部　八屋　本町　11 八屋公民館　上町　前川　JR日豊本線　田渕

0　1:10,000　300m

©2016ZENRIN CO.,LTD.　許諾番号:Z16FB第141号

宇島漁港
日の出町
宇島港
周防
元町
宇島
神明町
第３分団第３部
香川
第６分団第２部
西出屋
ケアハウスさくら
7 三毛門
出屋
第３分団第１部
13 宇島公民館
第３分団第２部
赤熊
12 宇島小学校（体育館）
久松
三毛門駅
第６分団第１部
JR日豊本線
宇島駅
宇島駅前交番
8 ケアポートぶぜん
昭和町
戸津田
9 八屋中学校（体育館）
第２分団
30 豊前市市民会館
10 中央公民館
東八幡町
8 八屋小学校（体育館）
31 福岡県立青豊高校（体育館）
恒富
三毛門
三毛門公民館 15
14 三毛門小学校（体育館）
二葉
29 多目的文化交流センター
小犬丸
清水町
折戸池
1 豊前市総合福祉センター
21 豊前市役所
倉 豊前市役所水防倉庫
吉木
市丸
三楽
第６分団第３部
高校通
今市
梶屋
森久
0 1:10,000 300m



凡　例

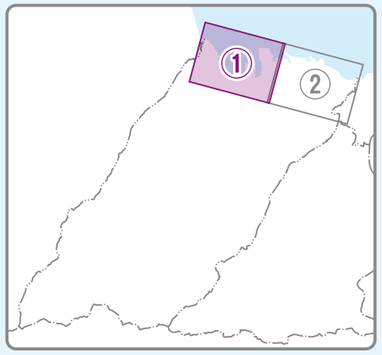
津波浸水想定区域

- 浸水深0.01m以上0.3m未満
- 浸水深0.3m以上1.0m未満
- 浸水深1.0m以上2.0m未満
- 浸水深2.0m以上5.0m未満

防災関連情報

- 指定緊急避難場所・指定避難所
- 福祉避難所
- 倉 防災倉庫・水防倉庫
- 市役所
- 警察署・交番・駐在所
- 消防署・消防車庫
- 市境
- 国道
- 県道
- JR

©2016ZENRIN CO.,LTD. 許諾番号：Z16FB第141号



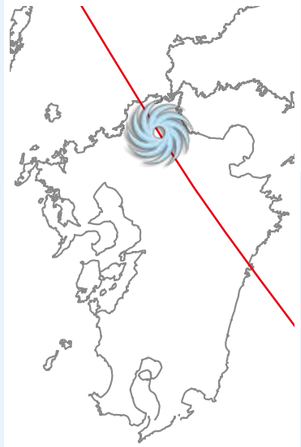
高潮ハザードマップについて

このハザードマップでは、豊前豊後沿岸（苅田町、行橋市、築上町、豊前市、吉富町）を対象に、最悪の浸水状況をもたらす台風が発生した場合に想定される、「浸水する範囲（浸水域）と浸水の深さ（浸水深）」を地図上に示しています。
【平成26年　福岡県作成】

最悪の浸水状況をもたらす台風は、満潮時に伊勢湾台風相当の台風が沿岸部に最も影響するコースで通過し、海岸の堤防を越えて浸水した場合を想定しています。

このハザードマップに示した浸水区域以外にも浸水する可能性がありますのでご注意ください。

■モデル台風のコース



福岡県の資料を基に作成

■モデル台風の中心気圧等について

台　風	台風の中心気圧		台風の半径	地上観測所での測定最大風速
	日本接近圏内（300km以内）	日本上陸圏内		
伊勢湾台風（昭和34年台風15号）	930（hPa）	940（hPa）	81（km）	45.4（m/s）

（参考）平成27年に九州へ上陸した台風15号は、最大中心気圧935（hPa）で、九州上陸時は955（hPa）

凡　例

高潮浸水想定区域

- 浸水深0.5m未満
- 浸水深0.5m以上1.0m未満
- 浸水深1.0m以上2.0m未満
- 浸水深2.0m以上3.0m未満
- 浸水深3.0m以上4.0m未満
- 浸水深4.0m以上5.0m未満

防災関連情報

- 指定緊急避難場所・指定避難所
- 福祉避難所
- 市役所
- 警察署・交番・駐在所
- 消防署・消防車庫
- 市境
- 国道
- JR
- 有料道路
- 県道

石原
畠中
松江
第4分団
角田中学校（体育館） 2
角田公民館 3
角田小学校（体育館） 1
中村
豊前松江駅
角田駐在所
9 向陽荘
鵜迫
如見寺
御腰掛
船入
広山
28 道の駅豊前おこしかけ
荻田
西前川
四郎丸
東九州自動車道
豊前発電所
宇島港
中央
八屋
明神
八屋小学校（体育館） 8
第1分団第1部
住吉
豊前武道館
豊前市民体育館
JR日豊本線
第1分団第2部
八屋
本町
11 八屋公民館
上町
前川
今吉
田渕

©2016ZENRIN CO.,LTD. 許諾番号:Z16FB第141号

宇島漁港
日の出町
宇島港
周防
元町
宇島
神明町
第３分団第３部
杏川
第６分団第２部
西出屋
ケアハウスさくら
7 三毛門
出屋
第３分団第１部
13 宇島公民館
第３分団第２部
12 宇島小学校（体育館）
宇島駅
三毛門駅
第６分団第１部
JR日豊本線
久松
宇島駅前交番
8 ケアポートぶぜん
昭和町
戸津田
9 八屋中学校（体育館）
第２分団
30 豊前市市民会館
10 中央公民館
東八幡町
赤熊
恒富
8 八屋小学校（体育館）
31 福岡県立青豊高校（体育館）
三毛門公民館 15
14 三毛門小学校（体育館）
29 多目的文化交流センター
二葉
小犬丸
清水町
折戸池
1 豊前市総合福祉センター
21 豊前市役所
倉 豊前市役所水防倉庫
吉木
市丸
三楽
第６分団第３部
高校通
今市
梶屋
森久

0 1:10,000 300m

©2016ZENRIN CO.,LTD. 許諾番号:Z16FB第141号

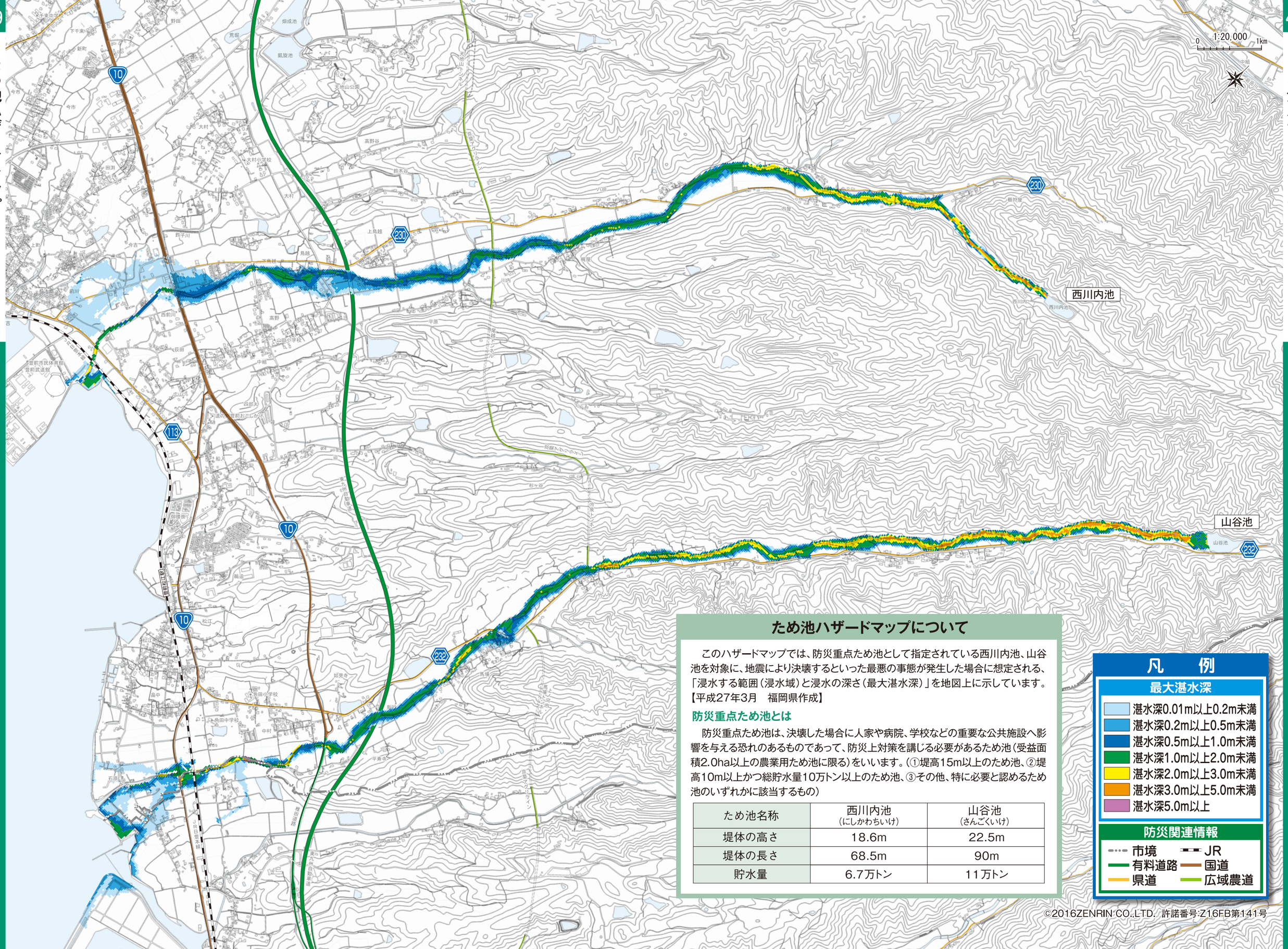
凡　例

高潮浸水想定区域

- 浸水深0.5m未満
- 浸水深0.5m以上1.0m未満
- 浸水深1.0m以上2.0m未満
- 浸水深2.0m以上3.0m未満
- 浸水深3.0m以上4.0m未満
- 浸水深4.0m以上5.0m未満

防災関連情報

- 指定緊急避難場所・指定避難所
- 福祉避難所
- 倉 防災倉庫・水防倉庫
- 市役所
- 警察署・交番・駐在所
- 消防署・消防車庫
- 市境
- 国道
- 県道
- JR



ため池ハザードマップについて

このハザードマップでは、防災重点ため池として指定されている西川内池、山谷池を対象に、地震により決壊するといった最悪の事態が発生した場合に想定される、「浸水する範囲（浸水域）と浸水の深さ（最大湛水深）」を地図上に示しています。
【平成27年3月　福岡県作成】

防災重点ため池とは

防災重点ため池は、決壊した場合に人家や病院、学校などの重要な公共施設へ影響を与える恐れのあるものであって、防災上対策を講じる必要があるため池（受益面積2.0ha以上の農業用ため池に限る）をいいます。（①堤高15m以上のため池、②堤高10m以上かつ総貯水量10万トン以上のため池、③その他、特に必要と認めるため池のいずれかに該当するもの）

ため池名称	西川内池（にしかわちいけ）	山谷池（さんごくいけ）
堤体の高さ	18.6m	22.5m
堤体の長さ	68.5m	90m
貯水量	6.7万トン	11万トン

凡　例

最大湛水深

- 湛水深0.01m以上0.2m未満
- 湛水深0.2m以上0.5m未満
- 湛水深0.5m以上1.0m未満
- 湛水深1.0m以上2.0m未満
- 湛水深2.0m以上3.0m未満
- 湛水深3.0m以上5.0m未満
- 湛水深5.0m以上

防災関連情報

- 市境
- JR
- 有料道路
- 国道
- 県道
- 広域農道

©2016ZENRIN CO.,LTD.　許諾番号:Z16FB第141号

災害に備えて

普段から心掛けることが大切です。災害に備えて、家族防災会議をしましょう。

チェックしよう!

話し合いたい項目

- □家の付近の浸水状況や、土砂災害の危険箇所の確認
- □災害が起こった時の身の守り方
- □家族間の連絡方法と、最終的に出会う場所
- □災害別の避難行動
  避難場所とそこへ行く経路。
- □家族一人ひとりの役割分担
  家族の安否確認、非常持出品・備蓄品の準備・点検、避難経路の確保、隣近所への連絡など。

※人の助けがなければ避難することのできない方がいる家庭やペットを飼っている家庭は、その避難方法も話し合いましょう。

日頃から心掛ける項目

- □家の中、家の周りの安全対策
  家具が倒れないよう固定具を準備しましょう。家の周りに吹き飛ばされそうなものはないか、雨戸などは傷んでいないか確認しましょう。
- □天気予報や気象状況に気をつける
  梅雨時期、台風時期など、災害が起こりやすい時期は、テレビ・ラジオ・新聞などの情報に注意しましょう。
- □非常食や非常持出品などを準備しておく
  非常食には、調理の手間がかからず、水もあまり使用しないもの(缶詰やレトルト食品など)を選びましょう。食べ物のアレルギー対応の非常食やペット用の非常食など、家族構成にも配慮しておきましょう。また、懐中電灯やラジオ、乾電池も忘れずに準備しておきましょう。

自主防災組織で地域を守る

自主防災組織とは、地域の皆さんが災害に対して協力し合う組織です。自主防災組織を結成し、地域防災活動を行うことで災害に強いまちづくりを目指しましょう。

平常時の活動

●作ろう、参加しよう、育てよう!

大きな災害では、行政や関係機関の対応に時間が掛かることがあります。個人や家族の力だけでは限界があります。
日頃の付き合いがある隣組や行政区などで、互いに助け合い、協力し合える体制づくりをしましょう。



●みんなで学ぼう!

防災に関心を持ち、防災に関する知識を身につけましょう。災害が起こったときに予想される事態や対応について話し合いましょう。



●地域を点検しよう!

地域の皆さんで事前に確認しましょう。
○消火栓の上や防火水槽の近くに、違法駐車や放置自転車などの障害物はありませんか?
○避難場所を皆さんが知っていますか?
○避難経路に危険な場所はありませんか?



●訓練をしよう!

いつ災害が発生しても対応できるように、必要な知識や技術を習得しましょう。
○消火器の使い方
○心肺蘇生法
(人工呼吸や心臓マッサージの方法、AEDの使用方法)



災害時の活動

●初期消火活動	身の安全を第一に考え、消火器などを用いた初期消火の実施
●避難誘導支援	高齢者や障がいをお持ちの方々などへの避難誘導の支援
●救出・救護活動	まず身の安全を確保し、その後被災者の救出や救護活動の支援
●情報の収集・伝達	災害に関する正しい情報を収集伝達し、支援活動などを実施
●避難場所の支援	水や食料などの配給支援や炊き出しなどの活動支援



災害時に特段の配慮を要する方々への支援

高齢者や障がいをお持ちの方など、災害時において特に配慮を要する方々は、災害発生時において地域の皆さんの支援が必要となります。日頃より、地域で協力し話し合いを進め、災害発生時の安否確認の実施、避難場所までの移動支援、また、避難生活となった場合に特段の配慮を行いましょう。

●高齢者・病人
○おんぶ(または担架、リアカーなどを利用)して安全な場所まで避難する。
○複数の介助者で対応する。

●車いすを利用している方
○階段では2人以上が必要。
○上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動する。
○介助者が1人の場合、ひもなどを用意し、おんぶして避難する。



●目の不自由な方
○声をかけ、情報を伝える。
○誘導する場合は、杖を持った方の手には触れず、ひじのあたりを軽く持って、半歩手前をゆっくり歩く。

●耳の不自由な方
○話すときは、口をハッキリと開け、相手にわかりやすいようにする。
○手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。



避難に対する基本的な考え方

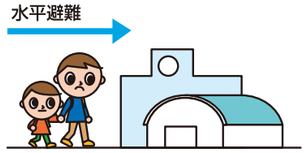
避難のポイント

避難は災害から命を守るための行動です

避難行動には、「立ち退き避難」と「屋内安全確保」があります。

立ち退き避難

指定の避難場所または近隣の安全な場所へ移動する避難行動
※指定の避難場所だけでなく、親せきや知人の家に避難することも避難行動です。



屋内安全確保

屋内に留まって安全を確保する避難行動
※急な雨や浸水で屋外への立ち退き避難が危険だと思った場合、自宅の安全な場所や近くの高い建物へ避難してください。



お住まいの地域や場所によって、災害の危険度や災害の危険が迫った時の状況が異なります。そのため、日頃より自分たちの住んでいる場所がどのような災害の危険があるのか、また、どのタイミングで避難行動を開始するのかなどを考えておくことが重要となります。
たとえば、次の地域にお住まいの方は、気象情報や市の避難情報に注意し、早めの避難行動を心がけてください。
○川沿いに住んでいる、または50cm以上の洪水浸水想定区域内に住んでいる方
○土砂災害警戒区域内またはその周辺に住んでいる方
○お年寄りや子どもなど、避難に時間がかかると思われる家族と住んでいる方

避難時の心得

●非常持出品は最小限に!
非常持出品はリュックサックにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。身軽に行動できるよう非常持出品は最小限にしましょう。



●自分の住所、氏名、連絡先などを記載した防災メモを持とう!
特に高齢者や子どもは、事前にメモを用意し、身につけて避難しましょう。



●外出中の家族には連絡メモを残そう!
避難前にはガスの元栓やブレーカーを切り、外出中の家族に「どこどこへ避難する」といったような連絡メモを残しておくと良いでしょう。



●集団で助け合おう!
単独での行動は避け、できるだけ近所の人たちと集団で指定された場所へ避難しましょう。緊急時は、家族、隣近所、地域みんなで助け合いましょう。



●緊急車両の通行を妨げないように
緊急車両の通行の妨げにならないよう、徒歩や車の乗り合わせで避難しましょう。



●避難所では係の人の指示に従いましょう!
避難所に着いたら、住所、氏名を報告し、係の人の指示に従いましょう。



防災情報

情報伝達の経路

市では、災害発生のおそれのあるときや、災害の発生が確実なときは『災害対策本部』を設置し、対応します。また、災害の危険が高まり、避難が必要となる場合には、避難情報を発表します。内容と周囲の状況に注意して行動しましょう。

気象庁 福岡管区気象台
大雨・洪水注意報
大雨・洪水警報
大雨特別警報
092-725-3601（代）

報道機関（テレビ・ラジオ）による気象情報、災害情報
パソコン向け 気象予警報・災害予警報 http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/

インターネット等

福岡県

豊前市 災害対策本部

行政区（自主防災組織）
- 区長への電話連絡等
- 市防災行政無線による吹鳴・音声放送
- 「防災メール・まもるくん」などによるメール配信
- 市ホームページでの呼びかけ
- 報道機関への広報要請
- 市広報車による呼びかけ
- 消防団による呼びかけ

市民の皆さん

➡ 気象情報、災害予報の流れ　➡ 避難勧告、避難指示等の流れ

避難情報と住民がとるべき行動

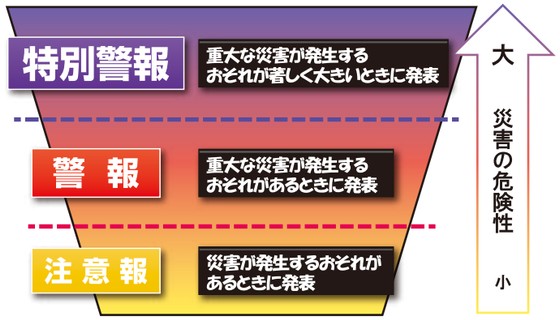
災害が発生する可能性が高まり、住民の皆さんの避難が必要になった場合に、市は避難に関する情報を発令します。市民の皆さんは情報を確認し、適切な行動をとってください。

市からの発表のタイミング	避難準備情報	避難勧告	避難指示
	災害による人的被害の発生する可能性が高まった状態	災害による人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状態、またはすでに人的被害が発生した状態	災害による人的被害の発生する可能性が非常に高まった状態、またはすでに人的被害が発生した状態
とるべき行動	家族への連絡や、非常持出品の用意など、避難行動を開始するための準備を行ってください。 高齢者、子ども、障がいがある方など、避難に時間を要する方は、避難行動を開始してください。	指定された避難所へ避難行動を開始してください。	まだ避難していない方は、直ちに避難行動を開始してください。危険が切迫し避難所へ移動する余裕のない場合は、命を守る最低限の行動をとってください。

特別警報について

気象庁では、各種災害の発表基準をはるかに超え、大規模な災害の起こる危険性が著しく高まった場合に、これまでにない危険が迫っていることをお知らせするため、平成25年8月から新しく「特別警報」を創設しました。特別警報が発表されたら、ただちに命を守る行動をとってください。

特別警報に相当する過去の災害は「平成23年東日本大震災〔地震・津波〕」、「平成23年台風12号（紀伊半島豪雨）〔大雨〕」、「昭和34年伊勢湾台風〔大雨・暴風・波浪・高潮〕」、「平成24年九州北部豪雨〔大雨〕」などがあげられます。



防災行政無線の放送内容の確認

0800−200−0979（フリーダイヤル）

防災情報やさまざまな行政情報について放送しています。風雨や地形などの影響により放送が聞き取りにくい場合は、こちらの番号で放送内容を確認することができます。

防災メール・まもるくんに登録をお願いします

防災メール・まもるくん ©CyberConnect2 Co., Ltd.

福岡県が提供する防災情報等のメール配信システムです。
携帯電話やパソコンに、防災に関する情報や地域の安全情報などをお知らせします。登録は無料です。（通信料は利用者負担です。）

●**登録方法**　①空メール送信　送信先／mamoru@bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp
②HPから登録　アドレス／http://www.bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp/

（①空メール送信）　（②携帯HP）

●**お問い合わせ先**　福岡県 総務部 防災危機管理局 防災企画課
電話：092-643-3114

QRコードからも登録できます

緊急速報「エリアメール」・緊急速報メール

緊急速報「エリアメール」および緊急速報メールは、気象庁が配信する緊急地震速報、津波警報、気象に関する特別警報等の情報や、市が配信する避難に関する緊急情報を、対象エリア内にいる携帯電話利用者全員に一斉送信するものです。

情報を受信するには、エリアメールや緊急速報メール対応機種であれば、月額使用料や情報料など無料で受信することが可能です。なお、対応機種でも設定を「ON」にしていないと受信することができません。

詳しくは、各携帯電話会社のホームページを参照してください。
○株式会社NTTドコモ 緊急速報「エリアメール」 https://www.nttdocomo.co.jp/service/safety/areamail/
○ソフトバンク株式会社 緊急速報メール http://www.softbank.jp/mobile/service/urgent_news/
○KDDI株式会社 緊急速報メール http://www.au.kddi.com/mobile/anti-disaster/kinkyu-sokuho/

インターネット防災情報

防災情報や気象情報は、下記ホームページで確認することができます。
正確な情報を入手することで、災害の被害を軽減することができます。

豊前市役所ホームページ	http://www.city.buzen.lg.jp/
福岡管区気象台	http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/
福岡県防災ホームページ	http://www.bousai.pref.fukuoka.jp/
福岡県河川防災情報	http://www.kasen.pref.fukuoka.lg.jp/bousai/
福岡県県土整備部防災情報(携帯電話)	http://www.mobile-doboku.pref.fukuoka.lg.jp/
福岡県道路規制情報(携帯電話)	http://www.dourokisei.bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp/
国土交通省九州地方整備局防災情報	http://www.qsr.mlit.go.jp/bousai_joho/
国土交通省川の防災情報	http://www.river.go.jp/

NTT災害用伝言ダイヤル（災害時の家族等への連絡にご利用ください。）

災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始されます。

171 にダイヤルし、音声ガイドにしたがう
- 録音の場合 1 → 被災地の方はご自宅の電話番号を被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤル（市外局番）0979−XX−XXXX → 伝言を入れる（30秒以内）
- 再生の場合 2 → 被災地の方はご自宅の電話番号を被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤル（市外局番）0979−XX−XXXX → 伝言を聞く

※伝言の保存期間は録音してから2日（48時間）です。保存期間を経過した時点で自動的に消去されます。

モバイル用
このホームページは携帯電話からでもご覧になれます。

詳しくは、http://www.ntt-west.co.jp/dengon/

●**体験利用日**
○毎月1日・15日（0:00から24:00）
○正月三が日（1月1日0:00から1月3日24:00）
○防災週間（8月30日9:00から9月5日17:00）
○防災とボランティア週間（1月15日9:00から1月21日17:00）

洪　水

台風や集中豪雨時の注意報・警報・特別警報は、災害が発生すると予想される場合に発表されます。テレビ・ラジオ・インターネットなどの気象情報に十分注意し、河川のはん濫などによる大きな被害が予想される場合は、早めの避難行動を心がけましょう。

関連Webサイト
- 気象庁 気象警報・注意報 …… http://www.jma.go.jp/jp/warn/
- 気象庁 レーダー降水ナウキャスト …… http://www.jma.go.jp/jp/radnowc/
- 福岡県河川防災情報 …… http://www.kasen.pref.fukuoka.lg.jp/bousai/

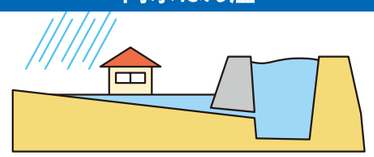
外水はん濫



大雨によって河川の水位が高くなると、堤防を超えて水があふれたり、堤防が壊れたり（決壊、破堤）することがあります。

このようなことが原因で生じるはん濫のことを「外水はん濫」といいます。

内水はん濫



平地に降った雨は、水路などを通じて河川に放出されます。しかし、ゲリラ豪雨のような雨が降ると、水路の排水能力が追いつかなかったり、河川の水位が上昇して排出できないことがあります。

このように、地域に降った雨が河川にたどり着く前にあふれる状態のことを「内水はん濫」といいます。

雨の強さと降り方（1時間雨量）

やや強い雨　10～20mm未満



地面一面に水たまりができ、話し声が聞き取りにくくなります。長雨になりそうなら警戒が必要です。

強い雨　20～30mm未満



土砂降りの雨。傘をさしていても濡れてしまうほどの雨です。小河川のはん濫や、がけ崩れの心配もあります。

激しい雨　30～50mm未満



バケツをひっくり返したように降る雨。山崩れ、がけ崩れが起こりやすくなります。道路規制も行われます。避難の準備を。

非常に激しい雨　50～80mm未満



滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。屋内で寝ている人の半数くらいが気付くほどの激しい雨です。

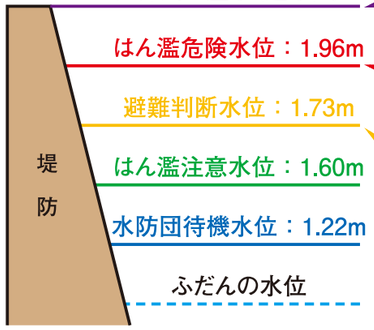
猛烈な雨　80mm以上



息苦しくなるような圧迫感があります。大雨による大規模な災害が発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要です。

河川の水位と避難情報発令基準水位

豊前市では、新大の瀬橋（佐井川）の基準水位などを参考に、避難勧告等を発表するタイミングを判断しています。　※浸水深50cm以上の区域を避難情報の発令対象とします。



避難指示発令
- ○避難場所へ避難中の住民は避難を完了
- ○まだ避難できていない場合は直ちに避難を開始、または命を守る最低限の行動をとる

避難勧告発令
- ○避難が必要と判断される場合は、指定された避難場所へ避難を開始

避難準備情報発令
- ○避難が必要と判断される場合は、家族等への連絡、非常持出品の用意などの準備を行う
- ○避難行動に時間を要する人（高齢者、障がいのある方など）は、指定された避難場所へ避難を開始

※避難勧告発令等が発令されていなくても、身の回りの危険を感じた場合は速やかに避難してください

避難のポイント



長靴は水が入って歩きにくく危険です。裸足やスリッパも禁物です。運動靴をはきましょう。



足元が見えないことが多いので、よく通っている道でも道路の真ん中を慎重に歩きましょう。



道路冠水時は、側溝、水路、マンホール（フタがとれている可能性あり）、坂道（水深が浅くても水の流れが速い）、ため池などが危険です。



たれ下がった電線には触らないようにしましょう。



橋を渡らないようにしましょう。

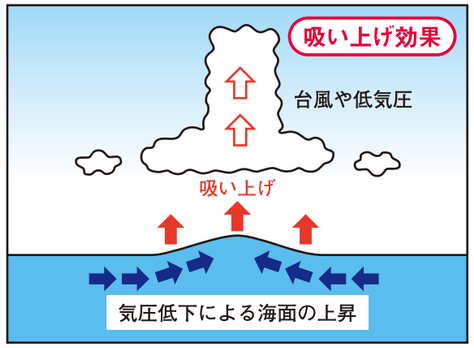


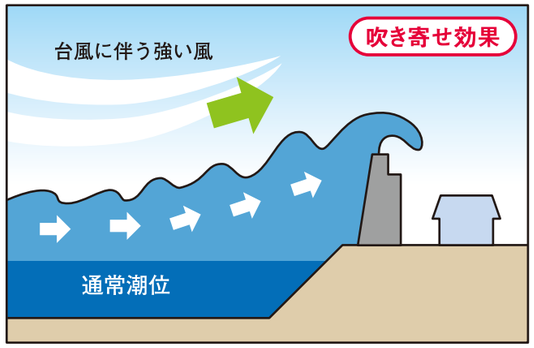
田んぼの見回りは避けましょう。仕方のない場合は複数で出向きましょう。

高　潮

関連Webサイト
- 気象庁 気象警報・注意報 …… http://www.jma.go.jp/jp/warn/
- 気象庁 潮位観測情報 …… http://www.jma.go.jp/jp/choi/

高潮が発生するしくみ





低気圧による吸い上げ ＋ **風による吹き寄せ**

①台風や低気圧の中心気圧は周辺よりも低いため、中心付近の空気が海面を吸い上げることにより、海面が上昇します。気圧が1hPa低下すると海面は1cm上昇します。

②台風による強い風が海岸に向かって吹くと、海水は海岸に吹き寄せられて、海岸付近の海面が上昇します。吹き寄せ効果は風速や海岸の状況により大きく異なり、V字型の湾の奥ほど高くなります。

③大波が海岸に何度も押し寄せると、海水が沖に戻ることができず、岸の付近に多量の海水がたまり、海面が上昇して大量の波が侵入（越波・越流）してきます。

夏から秋にかけて潮位が高くなり、浸水や冠水が発生しやすくなります!

九州・山口県では、海水の熱膨張などの影響により6月中旬～11月中旬の潮位が高くなります。特に大潮の期間中の満潮時に、台風や低気圧の接近による高潮などが発生すると、沿岸部の地域で浸水や冠水のおそれがありますので注意が必要です。

土砂災害

日本は国土の約7割が山地と丘陵地のため、しばしば土砂災害が発生します。土砂災害は予測が難しく、発生すると一瞬にして多くの人命や財産を奪うとても危険な災害です。特に雨が1時間に20mm以上、降り始めからの合計雨量が100mm以上になると十分な注意が必要です。

関連Webサイト

- 気象庁 気象警報・注意報 …… http://www.jma.go.jp/jp/warn/
- 気象庁 土砂災害警戒情報 …… http://www.jma.go.jp/jp/dosha/
- 福岡県土砂災害警戒情報（土砂災害危険度情報）
  …http://www.sabo.pref.fukuoka.lg.jp/dosya/

土砂災害防止法について

土砂災害防止法（正式名称は「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」）は、土砂災害（がけ崩れや土石流など）から国民の生命・身体を守るための法律です。

土砂災害は毎年のように全国各地で発生しており、私たちの暮らしに大きな影響を与えています。

そのため、土砂災害が発生するおそれのある地域を明らかにし、危険の周知、避難体制の整備、住宅などの建築制限などを推進しています。

土砂災害警戒区域（イエローゾーン）

がけ崩れ等の土砂災害が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）

がけ崩れ等の土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域で、特定の開発行為の制限、建築物の構造規制等が行われます。

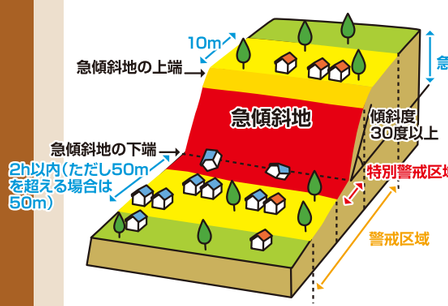
土砂災害の種類とその前兆現象

●急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）

斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震等でゆるみ、突然崩れ落ちる現象です。

前兆現象

- がけに割れ目が見える
- がけから水が噴出する
- がけから小石がバラバラ落ちてくる

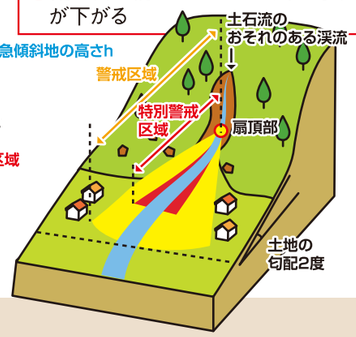


●土石流

山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨等によって、一気に下流へと押し流される現象です。

前兆現象

- 山鳴りがする
- 川の流れが濁り、流木が混ざりはじめる
- 雨が降り続いているのに川の水位が下がる

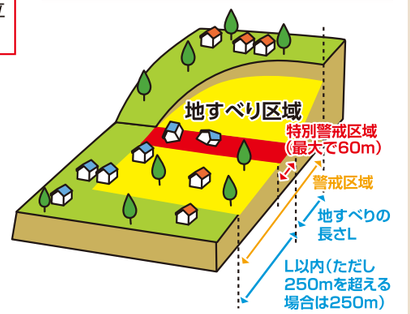


●地すべり

斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によって斜面下方に移動する現象です。

前兆現象

- 地面にひび割れができる
- 沢や井戸の水が濁る
- 斜面から水が噴き出す



土砂災害警戒情報

土砂災害警戒情報は、大雨警報発表後も雨が降り続き、土砂災害発生の危険度が高まった時に、福岡県と福岡管区気象台が共同で発表する情報です。情報は市町村単位で発表され、市の防災活動や避難勧告等の判断を支援し、市民の皆さんの自主避難の判断にも利用できます。

土砂災害警戒情報が発表された時は、いつ土砂災害が起きてもおかしくない、非常に危険な状態です。土砂災害の前兆現象を感じたら、早急に避難を開始しましょう。

●気象庁等による気象情報

大雨注意報
大雨によって災害が起こるおそれがある状況。

大雨警報
大雨によって重大な災害が起こるおそれがある状況。

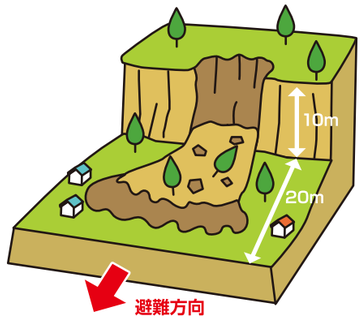
さらに大雨が続くと

土砂災害警戒情報
大雨による土砂災害発生の危険度が高まった時、都道府県と気象庁が共同で発表。

土砂災害における避難のポイント

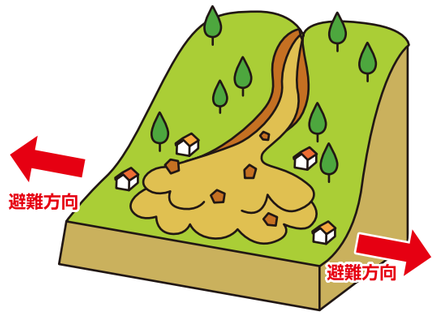
●がけ崩れのおそれがある場合

一般的に、がけ崩れの土砂は、地面が平らなところはがけの高さの2倍の距離までくるといわれています。避難する場合は、がけからできるだけ遠くに逃げてください。



●土石流のおそれがある場合

渓流沿いの低い土地から離れてください。土石流のスピードはとても速いので、土石流を見たら、流れに直角の方向に逃げましょう。また土石流が曲がる箇所では、かなり高い位置まで土石流がかけ上がるので、曲がりの外側のほうが内側より危険性が高くなります。



竜　巻

関連Webサイト

- 気象庁 竜巻発生確度ナウキャスト …… （PC） http://www.jma.go.jp/jp/radnowc/
  （携帯）http://www.jma.go.jp/jp/bosaijoho/m/radnowc/

竜巻の特徴

竜巻は、台風、寒冷前線、低気圧等の発達した積乱雲に伴って発生する激しい渦巻きです。短時間で狭い範囲に集中し、甚大な被害をもたらします。

竜巻により色々なものが飛散し、壁に突き刺さったり、窓ガラスが割れたりします。また、建物が倒れたり、車がひっくり返ることがあります。

竜巻が発生・接近している様子が見えたら

黒い雲の底がろうと状に垂れ下がる



物やごみ等が巻上げられ飛んでいる



画像2点は「竜巻から身を守ろう!ー自ら身を守るためにー 内閣府・気象庁」より



地　震

関連Webサイト
●気象庁 地震情報 …… http://www.jma.go.jp/jp/quake/

地震発生時の心構え／行動のポイント

地震発生　最初の大きな揺れは1分間



●**まず、身を守る**　机の下などへ。慌てて外へ飛び出さない。
●**すばやく火を消す**　危険が伴うので無理はしない。
●**脱出口を確保する**　ドア、窓を開ける。

発生1〜2分　揺れが収まったらまず火の始末



●**火元を確認する**　火が出たら落ち着いて初期消火。
●**家族の安全を確保する**　倒れた家具の下敷きなどでケガをしていないか。
●**靴をはく**　室内に散乱したガラスの破片などから足を守る。

発生3分　隣近所の安全確認　火災の発生を防ぐ



●**隣近所に声をかける**　けが人・行方不明者の確認、救出・救護。
●**近所に火が出ていたら初期消火**　大声で知らせる。消火器を使う。
バケツリレーをする（風呂の水をためおきしておく）。
●**余震に注意**

発生5分　ラジオなどで正しい情報を入手



●**正しい情報をつかむ**　ラジオや市役所の情報を聞く。
●**電話はなるべく使わない**　緊急連絡電話が優先。安否確認は「災害用伝言ダイヤル171」で。
●**家屋倒壊などの危険があれば避難**　避難をするときはガス栓をしめ、ブレーカーを落とす。

発生10分▼発生数時間▼発生3日くらい　協力して消火　救出・救護活動



●**助け合いの心が大切**　力を合わせて消火活動、救出・救護活動。
●**水・食料は蓄えているもので**　3日分の飲料水と食料を備蓄しておく。
●**壊れた家には入らない**　無理をして、二次災害を起こしてはいけない。
●**地震情報・被害情報の収集**　引き続き余震に注意。

こんなときは…

●路上にいた!
カバンなどで、窓ガラスや瓦などの落下物から頭を保護し、空き地や公園などに避難しましょう。

注意　ブロック塀、自動販売機には近付かない。倒れそうな電柱、垂れ下がった電線に注意しましょう。

●車を運転していた!
徐々にスピードを落とし、左側に止め、エンジンを切る。揺れがおさまるまで冷静に。カーラジオで情報収集をしましょう。

注意　避難する時はキーは付けたまま、ドアロックもしない。貴重品を持ち出し、徒歩で避難しましょう。

●エレベーターの中にいた!
すべての階のボタンを押し、停止した階で降りましょう。

注意　閉じ込められても無理に脱出しようとせず、非常ボタンで外部と連絡をとり救出を待ちましょう。

緊急地震速報が出されたら

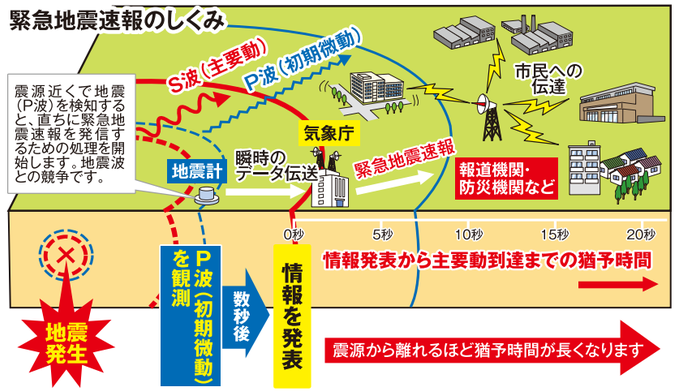
周囲の状況に応じて、あわてずにまず身の安全を確保しましょう。

緊急地震速報（平成19年10月1日一般向け運用開始）は、地震の発生直後に、震源近くで地震波をキャッチし、強い揺れが始まる直前にすばやくお知らせする情報です。最大震度5弱以上が推定される場合に、テレビやラジオ、メールを通じて、もうじき揺れることをお知らせします。

緊急地震速報を見聞きしてから強い揺れが来るまでの時間は、数秒から十数秒しかありません。その短い間に、自分の身を守ることを最優先に行動しましょう。

震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。

緊急地震速報のしくみ



津　波

関連Webサイト
●気象庁 地震情報 …… http://www.jma.go.jp/jp/quake/
●気象庁 大津波警報・津波警報・津波注意報 …… http://www.jma.go.jp/jp/tsunami/

津波に関する警報・注意報

気象庁では、東日本大震災の津波による被害をふまえ、津波警報・注意報の発表基準について改善を行いました。地震発生後約3分で大津波警報、津波警報または津波注意報を発表します。予想される津波の高さを5段階表記に変更し、また、マグニチュード8を越える巨大地震の場合は、「巨大」や「高い」という言葉で最初に発表します。

	予想される津波の高さ		想定される被害
	数値での発表（発表基準）	巨大地震の場合の表現	
大津波警報	10m超（10m＜高さ）	巨大	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。
	10m（5m＜高さ≦10m）		
	5m（3m＜高さ≦5m）		
津波警報	3m（1m＜高さ≦3m）	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。 人は津波による流れに巻き込まれます。
津波注意報	1m（20cm≦高さ≦1m）	（表記しない）	海の中では人は速い流れに巻き込まれます。 養殖いかだが流出し小型船舶が転覆します。

地震発生後、予想される津波の高さが20cm未満で被害の心配がない場合、または津波注意報の解除後も海面変動が継続する場合には、「津波予報（若干の海面変動）」を発表します。

避難のポイント

地震発生
↓
地震発生から2〜3分で津波情報が発表されます。警報・注意報が出たら冷静な行動をし、避難してください。
↓
警報・注意報が解除されるまでは海岸や河川には近付かないようにしましょう!

●地震が起きたら、まず避難
強い地震（震度4程度以上）を感じたとき、または弱い地震でも長い時間ゆっくりとした揺れを感じたときは、ただちに海岸から離れ、高台など安全な場所に避難しましょう。

●津波は繰り返し来襲します
津波は繰り返し来襲する（発生から6時間以上）ので、津波警報・注意報が解除されるまでは避難したところにとどまってください。

●津波は引き潮から始まるとは限りません
津波の前に引き潮があるとは限らないので、津波が来るかどうかの確認をするために海岸にでることはやめて、直ちに避難してください。

※テレビ・ラジオ等の情報を待っていると避難に間に合わないことがありますので、安全なところに避難してから情報を確認するように心掛けてください。